

開催月日 : 平成 29年 6月 26日

平成29年度第1回
定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービス連携推進会議

時間	am/pm 10:00 ~ am/pm 11:00	場所	かんだ連雀B2会議室
司会	浅見 達也	書記	尾崎 正紀
出席者	○千代田区高齢介護課介護事業指定係：●●●●様、●●●●様		
	○千代田区社会福祉協議会：●●●●様		
	○千代田区高齢者あんしんセンター：川島典子様(神田地区)		
	○千代田区かがやきプラザ：我妻亜弥乃様		
	○医療機関：●●●●様(三楽病院)、●●●●様(杏雲堂病院)		
	●●●●様(訪問看護ステーションHana-Kago・連携)		
	●●●●様(アクア訪問看護ステーション・連携)		
	○知見を有する者：●●●●様、●●●●様 ●●●●様、●●●●様、●●●●様		
	●●●●様、川上明美様、上宇都紗香様		
	○地域住民の代表者：●●●●様		
	○指定事業者		
	かんだ連雀いつでもサポートサービス：峯俊美、浅見達也、尾崎正紀		
会議内容	① 開会の挨拶		
	かんだ連雀：峯俊美		
	② 取り組み事例発表		
	かんだ連雀いつでもサポートサービス：尾崎正紀		
	③ ご出席者皆様よりご意見・講評		
詳細	④ 閉会の挨拶		
	かんだ連雀：峯俊美		
	② 取り組み事例発表		
	●介護と看護の連携方法と仕組みについて		
	介護面だけでは判断できない、医療的な部分をどのように報告・相談しているかを発表		

詳細

① 開会の挨拶

かんだ連雀：峯俊美

○定期巡回が始まりましてから5年が経ちました。かんだ連雀いつでもサポートサービスとして現在11名の利用者をお手伝いさせて頂いております。初年度は生活のパターンを見ながらお手伝いをするのが「生活の質」と言われていましたが、我々は訪問介護しか切り口がなく、訪問介護の目線でしか対応出来ていませんでした。その反省を踏まえて、部署内で勉強会を開き、「その方の生活とはどういうものなのか」、「その生活において大切なものは何か」、「介護として何が必要なのか」、「自分で出来ることは何か」を考え、その上で定期巡回として必要なことは何かを日々模索しております。この連携推進会議では、3ヶ月に1回、その成果を発表してまいりますので、皆様のご指導、ご意見を頂けますようお願い致します。

② 取り組み事例発表

かんだ連雀いつでもサポートサービス：尾崎正紀

○定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービス内容の詳細（定期巡回サービス、随時対応サービス、随時訪問サービス、訪問看護サービス）を説明。看護との連携方法について事例を参照しながら発表。介護面と医療面の情報を突き合わせることでより正確な身体・精神状態や生活環境の把握が深まっていくことを報告する。

③ ご出席者皆様よりご意見・講評

●●●●様：医療機関・連携

○緊急の場合は、電話対応を行なっていますが、日常的なことは全て連絡ノートに記入し共有を図っています。ヘルパーが入った時の状態も援助ごとに書かれているのでノートを見れば、その人の一日の生活が理解できるのでとても援助しやすいです。

(→かんだ連雀 浅見) もっとこうしたほうがよいといった要望はありますか？

○現状としては問題ありません。今後容態が変化してくる際には、躊躇せず、訪問看護に連絡して欲しい。

●●●●様：医療機関・連携

○緊急な事例があればすぐに報告を受けている。また月に一回のアセスメント報告会で日常的な情報も得ている。利用者様の社会的な背景がまだまだ理解できない場合があるので今後の課題と思う。その方の夜間帯の過ごし方等、気になる情報が関係機関から共有できるとよい。

(→かんだ連雀 浅見) 委託契約しているのでかんだ連雀からの情報は共有できても、他のサービス（デイサービスやショートステイ等）の情報は伝わってこないということですね。顔の見える関係性になっていないと。

●●●●●●様：知見を有する者

○急な点眼依頼も柔軟に対応頂けた。訪問介護の場合だと一日4回の援助は四苦八苦してしまう。訪問看護に直接連絡しても大丈夫でしょうか？

<p>(→かんだ連雀 浅見) 大丈夫です。連携先の事業所に直接お問い合わせ下さい。</p> <p>担当者会議にも参加できます。</p>
<p>●●●●●様：知見を有する者</p> <p>○最近定期巡回サービスを始めた利用者の方ですが、本人の拒否が強く、サービスの受け入れがよくない。お手伝いさんが居る時しか援助に入れない。少ない援助者で対応してもらっているが未だに拒否が続いている。</p> <p>(→かんだ連雀 浅見) サービスがスタートして間もないため、ヘルパーとの信頼関係も出来ていない。家族の理解も必要となるため、受け入れて頂くにはもう少し時間がかかると思われます。</p> <p>人の出入りがあると拒否される方も中にはいます。今は受け入れが悪くても随時に対応できるため、サービスの継続を望みます。</p>
<p>●●●●●様：知見を有する者</p> <p>○訪問介護から定期巡回に移行した利用者を受け持っている。服薬確認の受け入れ拒否があった。自由に外出している方なので訪問時に不在にしていなくて不安がある。</p> <p>(→かんだ連雀 浅見) 毎日入ることで徐々に慣れて頂き、受け入れも良くなってきています。服薬も自主的に出来るように変化してきた。信頼関係も出来つつある。</p> <p>○以前はデイサービスへも服薬確認をお願いしていたが、定期巡回を始めて他サービスに振らなくてよくなりました。異変時もすぐに報告がくるので一本化できてよかった。</p>
<p>●●●●●様：知見を有する者</p> <p>○ターミナルの方で訪問介護から定期巡回に移行した。独居で在宅は難しいとの見解だったが、本人の意志は在宅を希望されていたため定期巡回に切り替えた。訪問介護の時には、異変時の第一報がケアマネに来ていたが、定期巡回では看護に繋がられていて安心感が増した。連絡ノートを活用して、迅速に対応している。</p> <p>(→かんだ連雀 浅見) この利用者の方は医療保険から訪問看護を適応し、毎日帯で入っている。状態の変化があれば、すぐに医療処置に繋がっています。</p>
<p>●●●●●様：知見を有する者</p> <p>○独居で認知症の方。エアコン管理が心配。ご自身で電源コンセントを抜いてしまうこともある。</p> <p>(→かんだ連雀 浅見) 定期巡回では全ての利用者のエアコン管理と水分補給の管理を行っております。これからの時期は、熱中症にも注意してまいります。</p> <p>○この利用者の方は、皮膚疾患があり、訪問看護と連携してうまく医療に繋がられた。健康面のことは情報が伝わってきた時では遅いこともある。今後はケアマネ以外でも担当者会議の必要等を提案して欲しい。</p>
<p>●●●●●様：知見を有する者</p> <p>○訪問看護は一日に何回までと、回数に制限があるのか？</p> <p>(→かんだ連雀 浅見) 決まりはありませんが、個々の事業所の人員体制によります。</p> <p>○服薬確認できなかった場合は、再度訪問してもらえるか？</p> <p>(→かんだ連雀 浅見) 再訪問します。同じアプローチで服薬が難しいと判断した場合は、取り組み自体</p>

を再考し、一度で服薬できるように対処してまいります。

●川島典子様：千代田区高齢者あんしんセンター

○あんしんセンターでは要支援の方のサポートが中心で、定期巡回利用者の方との直接的な関わりがなかったのが勉強させていただきました。

●●●●●様：千代田区高齢介護課介護事業指定係

○5月18日付の厚労省からの報告では定期巡回の普及率が低いとの見解。千代田区の定期巡回利用者は3月末の時点で22名。要介護者全体から見ると普及率は1.0%で、他の区は0.5%であることから健闘はしている。ただ、当初想定していた要介護者3以上の方50人規模に対応していくという目標には達しておらず、低い要介護度の方への利用が目立つ。周知度が足りない事も踏まえ、原点に戻ってサービスを進めていきたい。

④ 閉会の挨拶

かんだ連雀：峯俊美

○今回は、看護との連携というテーマで発表させていただきました。ケアマネジャーの方から多くの事例紹介をいただきました。先程も紹介がありました通り、要介護者3以上の方を想定したサービスとしてスタートしましたが、実際は要介護1、2の方の生活パターンが見えない、アセスメントのツールとして定期巡回を導入したいといった利用が目立ちます。普及活動は当面の課題だと捉えておりますので、今後に対応してまいります。

以上